

## *Timothy David Graham Thomas*



私は6歳から「犬の世界」に関わっています。若い頃、私は「Ochaye（オチャイ）」という私の家族の犬舎名のラフコリーをハンドリングしていました。私はまた、他の多くの「ワーキング/牧羊犬」種と、さまざまな「トイ」種、中でも沢山のチャイニーズ・クレステッドをハンドリングしました。

オーストラリアとニュージーランドの両方で、私の家族のラフコリーはナショナルブリードポイントスコアで第1位になりました。私たちの最も有名なラフコリー「GrCh Ochaye My Blue Heaven」と彼の息子「Gr / SupCh Ochaye Empire Builder」は、2000年から2007年までオーストラリアを代表するラフコリーでした。GrCh Ochaye My Blue Heavenは、オーストラリアで最も勝利を収めたラフコリーであり、100を超えるグループファーストを獲得したという記録を保持しています。また、ベストインショーも27回達成しました。

2010年から2014年にかけて、オーストラリア最年少のグランドアンドシュプリームチャンピオンである柴犬「SupCh Orienta The Benedict」を共同所有し、ショーキャンペーンを実施しました。

現在、私はパートナーと一緒に、「Ochaye」オチャイの犬舎名でオーストラリアンシェパードを所有し、繁殖しています。現在、18か月でオーストラリア最年少のオーストラリアンシェパードを含む7頭のチャンピオンを生み出しています。

ショーと繁殖の他に、私はCollie R&S Club of Qld Inc (2003/2004)の副会長を務め、2004年から2009年までクラブの秘書を務めました。2009年に会長に就任し、2019年に退職しました。2019年、私はクイーンズランド州のオーストラリアンシェパードドッグクラブの会長に選出されました。また、私は同州のチャイニーズ・クレステッド・ドッグ・クラブの副社長兼秘書で、ノース・クイーンズランド州のトイ・ドッグ・クラブの創設メンバーでもあります。

2013年、私はクイーンズランド州のドッグオブザイヤーの「議長」に任命されました。2015年2月に、私は4年の任期で同州の理事会に選出されました。また、2019年に審査委員会のメンバーに任命されました。

2015年8月、私は最終審査試験に合格し、ANKC All Breeds ステータスを取得し、2018年にFCI International All Breeds Judgeとして正式に認められました。

私は、オーストラリアで審査することに加えて、ボリビア、カナダ、チリ、コロンビア、コスタリカ、キプロス、デンマーク、フィンランド、フランス、グアテマラ、インド、アイルランド、日本、リトアニア、メキシコ、オランダ、ニュージーランド、ペルー、

フィリピン、ロシア、スロベニア、スウェーデン、台湾、タイ、アメリカ合衆国、ベトナム。で審査する名誉を授与されました。

これまでの私の最大の審査経験は、ロシアの世界ドッグショー（2016）、アムステルダムの世界ドッグショー（2018）、および米国のグランドリバーズ/アシュタブラケネルクラブ（2018）での BIS の審査が含まれます。また、スロベニアのヨーロッパドッグショー（2020年）およびマドリードの世界ドッグショー（2020年）の審査員にも招待されています。

***Timothy Thomas***